

令和 07 年度		調査	
市道夏井高畑線保谷橋補修設計業務委託 実施		設計書	
委託番号		施工地	
土0710		胎内市 夏井 地内	
	実施・元	変更	
設計額	円	円	
契約額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	
委託・履行日数	委託日数 200 日間 又は 完成期限 年 月 日	日間(付与日数 日間) 完成期限 年 月 日	
実施 (元) 設計概要	塗装塗替工設計 1橋 吊索取替工設計 1橋 耐風支索取替工設計 1橋 木床版・木縦桁取替工設計 1橋 塔柱支承アンカー補修工設計 1橋 落下防止網取替工設計 1橋	変更 設計概要	

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意）、“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	RXXXXXXXXX	RRXXXXXXXXX	TRXXXXXXXXX					
資材単価	TZXXXXXXXXX	TXXXXXXXXXX	TTXXXXXXXXX	TVJXXXXXXXXX	TRXXXXXXXXXX	TMNXXXXXXXXX	TNXXXXXXXXXX	TZPXXXXXXXXX
機械・仮設材の賃料・損料	TLXXXXXXXXX	KXXXXXXXXXX	KEXXXXXXXXXX	TMXXXXXXXXXX	TZUXXXXXXXXX	MXXXXXXXXXX	MMXXXXXXXXXX	
市場単価	TAXXXXXXXXX	TBXXXXXXXXXX	TCXXXXXXXXXX	TDXXXXXXXXXX	TGXXXXXXXXXX	TQXXXXXXXXXX		
その他	T9999001～T9999099 ※		FXXXXXXXXXX	WXXXXXXXXXX ※	TFJAXXXXXXXXXX ※	TYXXXXXXXXXX ※		
東京単価	RR9XXXXXXXXX	TZ09XXXXXXXXX	TZP9XXXXXXXXX	TL09XXXXXXXXX	MM09XXXXXXXXX	TQ09XXXXXXXXX		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合もあります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。※

積算基準〔1 県版〕	SXXXXXXXXX	SCBSXXXXXXXXX
積算基準〔2 調査関係〕	SAXXXXXXXXX	SBXXXXXXXXXX
	SCXXXXXXXXXX	SDXXXXXXXXXX
積算基準〔3 港湾〕	SDHXXXXXXXXX	SEXXXXXXXXXX
	SSHXXXXXXXXX	
積算基準〔4 下水道〕	SWGXXXXXXXXX	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBXXXXXXXXX	WBXXXXXXXXXX
	SCBXXXXXXXXX	CBXXXXXXXXXX
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCXXXXXXXXX	WCXXXXXXXXXX
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWEXXXXXXXXX	WEXXXXXXXXXX
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJXXXXXXXXX	KXXXXXXXXXX

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900 ※	S0901 ※	SE918 ※	
名称、労務数量等を設定	SA901 ※	SA902 ※	SA910 ※	SC900 ※
全ての歩掛を独自設定	VXXXXXXXXXX			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合もあります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機-〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合があります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1~4。
Ynxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1~4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。

同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*減額処理*」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*単価置換*」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。

詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

設計業務委託 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

設計業務委託	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
橋梁設計			式			
業務計画			業務		1	
既存資料の収集・整理			業務		1	
現地踏査			橋		1	
対象工種の選定及び修繕後の部材健全度設定			橋		1	
塗装塗替工設計			橋		1	
吊索取替工設計			橋		1	
耐風支索取替工設計			橋		1	
木床版・木縦桁取替工設計			橋		1	
塔柱支承アンカー補修工設計			橋		1	
落下防止網取替工設計			橋		1	
施工計画			橋		1	
概算工事費			橋		1	
設計協議			業務		1	
直接作業費						
電子成果品作成費			式			
旅費・交通費			式			

設計業務委託 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は、他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
旅費交通費 (率計上) (設計業務)		式		1	
間接作業費					
直接費					
その他原価					
間接費					
業務原価					
一般管理費等					
委託価格					
消費税相当額					
委託費					

総括情報表

設計書名 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日/適用基準日 諸経費体系	実施設計書 1 実施単価 11 新発田① 0-07.04.20(0) 5 委託	
委託先 電子成果品作成費計上 労務単価の補正率 消費税率	当 世 代 01 業者 01 詳細設計等業務に率計上 21 0%:補正なし 04 10%	前 世 代

設計業務委託 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
設計業務委託									X3000	
橋梁設計									YD000000198	
業務計画									V0001	
N 直接人件費	1			業務					施工	第0-0001号内訳表
既存資料の収集・整理									V0002	
N 直接人件費	1			業務					施工	第0-0002号内訳表
現地踏査									V0003	
N 直接人件費	1			橋					施工	第0-0003号内訳表
対象工種の選定及び修繕後の部材健全度設定									V0004	
N 直接人件費	1			橋					施工	第0-0004号内訳表
塗装塗替工設計									V0005	
N 直接人件費	1			橋					施工	第0-0005号内訳表
吊索取替工設計									V0006	
N 直接人件費	1			橋					施工	第0-0006号内訳表
耐風支索取替工設計									V0007	
N 直接人件費	1			橋					施工	第0-0007号内訳表

設計業務委託 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
木床版・木縦桁取替工設計									V0008	
N 直接人件費	1			橋					施工	第0-0008号内訳表
塔柱支承アンカー補修工設計									V0009	
N 直接人件費	1			橋					施工	第0-0009号内訳表
落下防止網取替工設計									V0010	
N 直接人件費	1			橋					施工	第0-0010号内訳表
施工計画									V0011	
N 直接人件費	1			橋					施工	第0-0011号内訳表
概算工事費									V0012	
N 直接人件費	1			橋					施工	第0-0012号内訳表
設計協議									V0013	
4回 N 直接人件費	1			業務					施工	第0-0013号内訳表
直接作業費										
電子成果品作成費									Z0002	
旅費・交通費				式					Z0003	
				式						

設計業務委託 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
旅費交通費（率計上）（設計業務） （宿泊・滞在なし）									SC980	
0 省略	1			式					施工	第0-0014号内訳表
間接作業費										
直接費										
その他原価										
間接費										
業務原価										
一般管理費等										
委託価格				式						
消費税相当額										

設計業務委託 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
委託費						

V0001

施工内訳表

施工 第0-0001号内訳表

1

業務 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
主任技師		人			RR0402
技師(A)		人			RR0403
小計	1	業務			

V0002

施工内訳表

施工 第0-0002号内訳表

1 業務 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
技師(C)		人			RR0405 0 省略
小計	1	業務			

V0003

施工内訳表

施工 第0-0003号内訳表

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
主任技師		人			RR0402 0 省略
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
小計	1	橋			

V0004

施工内訳表

施工 第0-0004号内訳表

1 橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
主任技師		人			RR0402 0 省略
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
小計	1	橋			

V0005

施工内訳表

施工 第0-0005号内訳表

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
技師(C)		人			RR0405 0 省略
技術員		人			RR0406
小計	1	橋			

V0006

施工内訳表

施工 第0-0006号内訳表

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
主任技師		人			RR0402 0 省略
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
技師(C)		人			RR0405 0 省略
技術員		人			RR0406 0 省略
小計	1	橋			

V0007

施工内訳表

施工 第0-0007号内訳表

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
主任技師		人			RR0402 0 省略
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
技師(C)		人			RR0405 0 省略
技術員		人			RR0406 0 省略
小計	1	橋			

V0008

施工内訳表

施工 第0-0008号内訳表

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
主任技師		人			RR0402 0 省略
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
技師(C)		人			RR0405 0 省略
技術員		人			RR0406 0 省略
小計	1	橋			

V0009

施工内訳表

施工 第0-0009号内訳表

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
技師(C)		人			RR0405 0 省略
技術員		人			RR0406 0 省略
小計	1	橋			

V0010

施工内訳表

施工 第0-0010号内訳表

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
技師(C)		人			RR0405 0 省略
技術員		人			RR0406 0 省略
小計	1	橋			

V0011

施工内訳表

施工 第0-0011号内訳表

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
技師(C)		人			RR0405 0 省略
小計	1	橋			

V0012

施工内訳表

施工 第0-0012号内訳表

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
技師(C)		人			RR0405 0 省略
小計	1	橋			

V0013 施 工 内 訳 表

施工 第0-0013号内訳表

4回

1

業務 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 雑 材 料 区 分 ・ 管 理 費 区 分
主任技師		人			RR0402 0 省略
技師(A)		人			RR0403 0 省略
技師(B)		人			RR0404 0 省略
小計	1	業務			

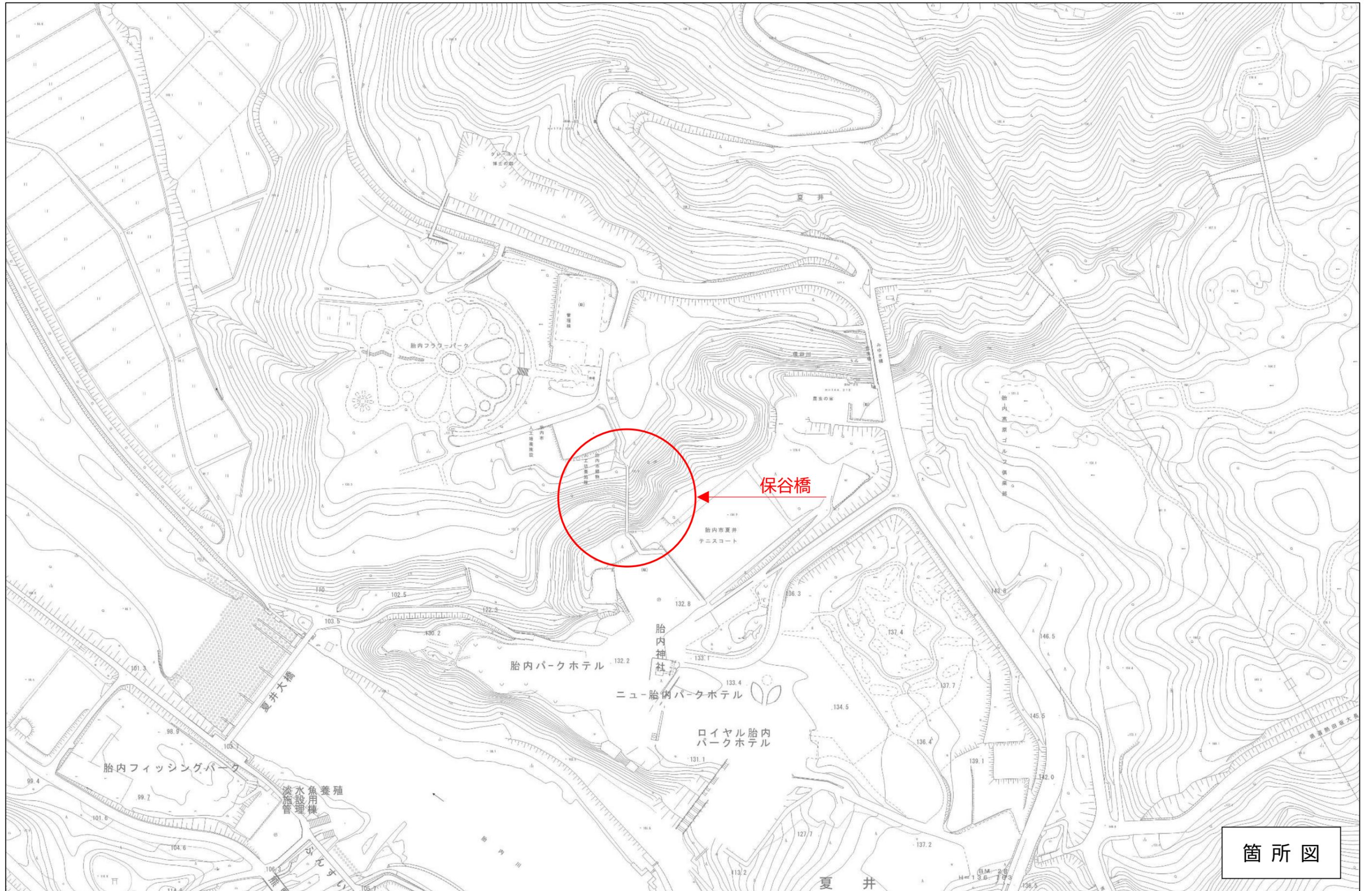
SC980

施工内訳表

施工 第0-0014号内訳表

1 式 当り

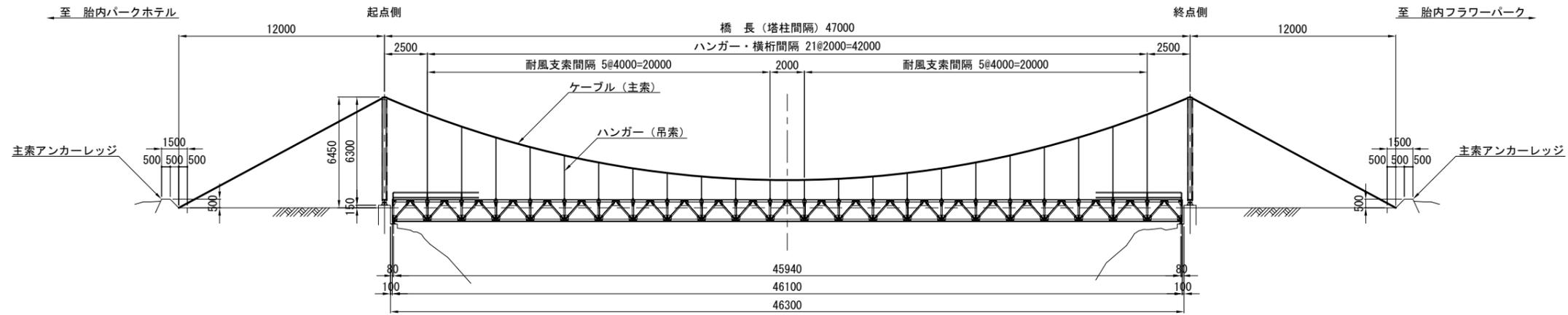
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考・雑材料区分・管理費区分
一式金額	1.000	式			T9999009
					0 省略
小計	1	式			
直接人件費（円）					



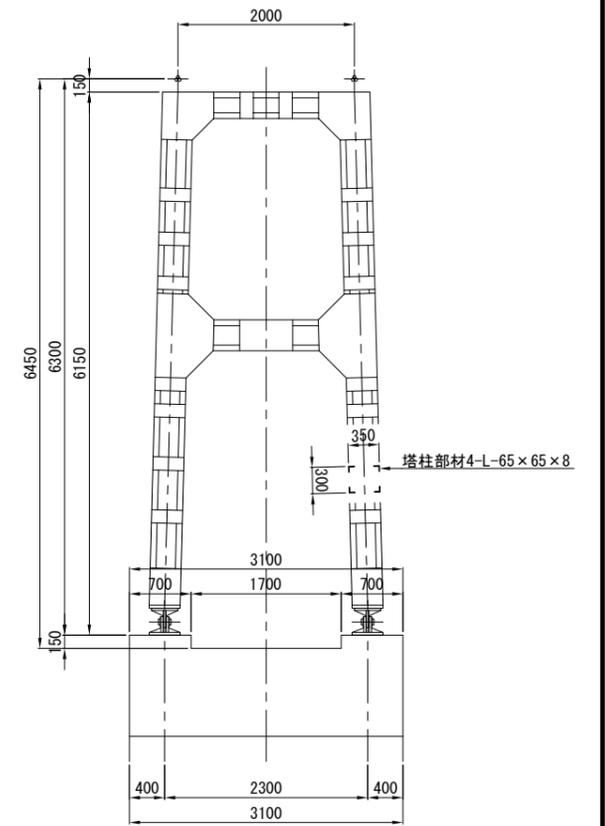
箇所図

保谷橋 橋梁一般図

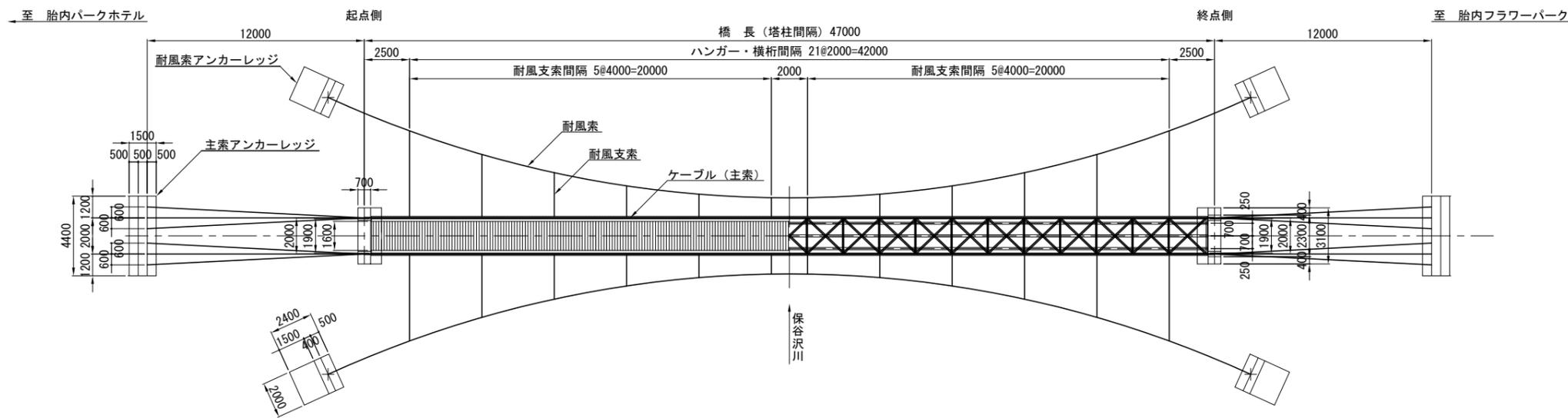
側面図 S=1:100



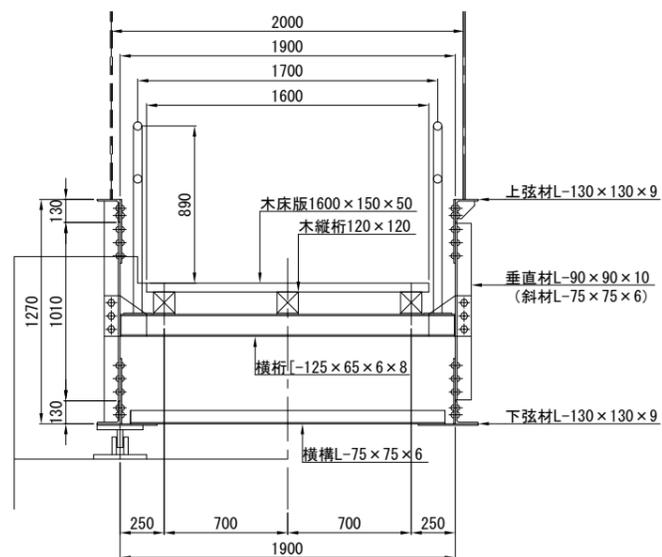
塔柱断面図 S=1:40



平面図 S=1:100



標準断面図 S=1:20



橋梁諸元

橋梁名	保谷橋(ホダニバシ)
路線名	市道:夏井高畑線
所在地	新潟県胎内市夏井 地内
交差条件	保谷沢川
橋長	47.000m(塔柱間隔)
幅員	1.600m
平面線形	R=∞
斜角	90° 00' 00"
上部工形式	単径間吊橋
下部工形式	不明
基礎工形式	不明
桁形式	ワーレントラス
床版形式	木床版(木縦桁)
竣工年	昭和61年(西暦1986年)
設計荷重	不明
適用基準	小規模吊橋指針・同解説(昭和59年4月)(推定)
設計業者	不明
施工業者	不明
添架物	無し

※本橋は、昭和61年に別の場所に架けられていた橋を、現在の位置に移設したものと伝わっている。

<注記>
1.本図面は、本業務における簡易計測を基に作成したものである。
なお、計測が困難な部分については、一部推定している。

令和7年度	工事番号 土0710 号
市道夏井高畑線	胎内市夏井 地内
市道夏井高畑線保谷橋補修設計業務委託	
保谷橋 橋梁一般図	
縮尺	図面全 1 葉の 1
測量	年月
設計	株式会社構造技研新潟 R6年10月
胎内市	

市道夏井高畑線 保谷橋 補修設計業務委託 特記仕様書

第1章 総則

第1条 適用

本特記仕様書は、「夏井高畑線 保谷橋 補修設計業務委託」（以下、「本業務」という。）に適用する。また、本業務の遂行にあたっては、本特記仕様書によるほか、契約書、設計図書、新潟県土木部制定の「測量・設計・調査業務委託標準仕様書」（以下、「標準仕様書」という。）によるものとする。

第2条 委託期間

委託期間は、契約の日から令和7年12月8日までとする。

第3条 管理技術者

管理技術者は、標準仕様書第1107条の定めにかかわらず、下記に定めるいずれかの要件を満たす者とする。

- ・技術士（総合技術監理部門：建設部門の選択科目全てを対象とする）
- ・技術士（建設部門：鋼構造及びコンクリート、道路）
- ・RCCM（専門技術部門：鋼構造及びコンクリート、道路）
- ・土木学会認定土木技術者（特別上級土木技術者、上級土木技術者又は1級土木技術者における資格分野「鋼・コンクリート、メンテナンス、橋梁」を対象）
- ・工学博士
- ・道路橋に関する高度な調査・検討業務の成果をマネジメントした実務経験を有するもの

第4条 使用図書

本業務にて使用する図書は、標準仕様書第1201条に示す「最新の技術基準及び参考図書」によるものとする。

第2章 設計準備・計画

第5条 構造諸元、損傷概要及び方針

保谷橋は、夏井高畑線の胎内市夏井地内に存する橋長47.0m（塔柱間隔）の吊橋であり、昭和61年の竣工から約38年が経過し、令和2年度の橋梁定期点検にて上部工の損傷が確認されている。また、令和6年度に損傷の進行状況確認および健全度の確認が行われている。

る。なお、現在、床版の腐朽等により通行止めが実施されている。

本業務は、令和 2 年度と令和 6 年度の結果を踏まえ、健全性の回復を目的とした、補修設計を行うものとする。

<保谷橋 基本諸元>

所 在 地：新潟県胎内市夏井地内
橋 長：47.0m（塔柱間隔）
幅 員：1.6m
橋 梁 形 式：吊橋
桁 形 式：ワーレントラス
床 版 形 式：木床版（木縦桁）
竣 工 年 月：昭和 61 年（西暦 1986 年）
交 差 施 設：保谷沢

第 6 条 業務内容

本業務は、令和 2 年度および令和 6 年度に確認された上部工の損傷に対して、健全性の回復を目的とした補修設計を行うものとする。

第 7 条 業務計画

受注者は、契約後速やかに橋梁補修設計の実施体制を整え、必要な資料の収集、現地踏査計画を検討し、標準仕様書第 1112 条に基づいて、業務計画書を作成し、監督員に提出するものとする。

第 8 条 既存資料の収集・整理

業務に先立ち、点検資料等の貸与資料や既存の関係資料を収集し、整理を行う。

第 9 条 現地踏査

既存資料をもとに現地踏査を行い、損傷程度の概要、既存の補修対策状況、添架物・支障物件の有無、周辺状況、施工性を確認し、補修設計の計画立案に必要となる基礎的状況を把握する。

第 10 条 対象工種の選定及び修繕後の部材健全度設定

令和 6 年度の補修対策（案）を基に、現地踏査にて確認した損傷状況や損傷原因から、修繕が必要な部材を抽出し補修設計工種の選定を行う。なお、確認した損傷状況から、橋梁の損傷の進展を抑制する予防保全工種（塗装塗替え等）についても検討を行う。

また、抽出した部材の修繕後の健全度を損傷の進展状況を踏まえ設定する。

選定結果については、監督員の承認を得るものとする。

第3章 補修設計

第11条 塗装塗替工設計

塗装仕様は塗装の劣化状況に合わせて決定し、劣化しやすい桁端部や下フランジ、添接部等については、別途検討を行い、現橋図に基づいた塗装構成図を作成する。また、本橋においては、塗装面積が不明であるため、塗装面積等数量を算出する。

(対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査、報告書作成)

第12条 吊索取替工設計

腐食、断線等の損傷が生じている吊索について、取替えの設計を行う。なお、取替えは全数取替えを想定している。

(対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査、報告書作成)

第13条 耐風支索取替工設計

腐食等の損傷が生じている耐風支索について、取替えの設計を行う。なお、取替えは全数取替えを想定している。

(対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査、報告書作成)

第14条 木床版・木縦桁取替工設計

腐朽等の損傷が生じている木床版および木縦桁について、取替えの設計を行う。なお、取替えは全数取替えを想定している。

(対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査、報告書作成)

第15条 塔柱支承アンカー補修工設計

腐食や欠損等の損傷が生じている塔柱の支承アンカーについて、補修設計を行う。なお、補修はアンカーの欠損が著しい箇所に対して行うものとし、支承アンカーの代替方法を想定している。

(対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査、報告書作成)

第16条 落下防止網取替工設計

腐食や変形・欠損等の損傷が生じている落下物防止網について、取替えの設計を行う。なお、取替えは全数取替えを想定している。また、落下防止網が取り付けられている高欄については、前項の塗装塗替を想定している。

(対策工法の検討、設計図作成、数量計算、照査、報告書作成)

第17条 施工計画

補修工種全体の施工順序、施工要領、概略工程表、仮設足場図を作成し、施工時の留意点等を取りまとめる。

第 18 条 概算工事費

補修工種ごとに概算工事費を算出する。

第 19 条 設計協議

設計協議は、「業務着手時」、「中間」(2回)及び「完了時」の合計4回を予定し、管理技術者、その他適当と認めるものが立ち会うものとする。

第 4 章 その他

第 20 条 成果品の提出

本業務の成果品は以下に示すものとする。

- ①報告書 …………… 2部 (A4版・ファイル綴：A3縮小図面含む)
- ②電子媒体 …………… 2部 (CD-R)

第 21 条 貸与資料

以下の資料を貸与する。

- ①橋梁台帳
- ②平成27年度 橋梁定期点検業務委託 報告書
- ③令和2年度 橋梁点検業務委託 報告書
- ④令和6年度 保谷橋橋梁点検業務委託 報告書
- ⑤その他、業務履行上必要な発注者が所有する資料

第 22 条 沿道対応

本業務実施中、沿道の住民および道路利用者から苦情があった場合は、受注者において丁寧に対応するものとし、その結果を速やかに監督員に報告するものとする。

第 23 条 安全対策

本業務にあたっては安全対策につとめ、各種関係法令を遵守し、第三者及び現地作業に従事する者に対して適切な安全対策を行わなければならない。

第 24 条 疑義

受注者は、業務の実施にあたり疑義が生じた場合には、監督員と協議するものとする。また、設計項目の追加等が生じた場合は、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。